



柏市の防災体制

危機管理部防災安全課



本日のメニュー



- 1 被害想定
- 2 防災体制（ハード面）
- 3 防災体制（職員の役割）
- 4 災害に備える



1 柏市の被害想定

柏市の被害想定（地震）

■ 柏市防災アセスメント調査

平成30年度に行った「柏市防災アセスメント調査」では、3つの地震を想定して被害の推計を行い、最も大きな被害想定の下「柏市直下地震」を基に防災計画を策定しています。

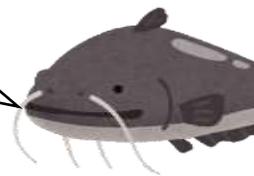
【想定条件】

人口420,028人
建物棟数117,445棟
平日冬18時
風速8m/s

【ライフライン復旧目安】

電力 1週間
上下水道 1ヶ月
通信 1週間
ガス 1ヶ月

現在のところ柏市の直下にプレートは発見されていないので、最悪の条件を想定したものです



大項目	小項目	柏市直下地震
大きさ	マグニチュード	7.3
揺れ	主な震度階	6弱～6強
建物被害	全壊棟数	6,980
	半壊棟数	11,836
	焼失棟数	4,658
人的被害	死者数	250
	重傷者数	243
	負傷者数	900
避難者数 2週間後 (ピーク時)	避難所内	44,000
	避難所外	66,000
	合計	110,000
ライフライン被害	停電率	約92%
	断水率	約65%
	通信障害割合	約91%
	都市ガス機能支障割合	約71%

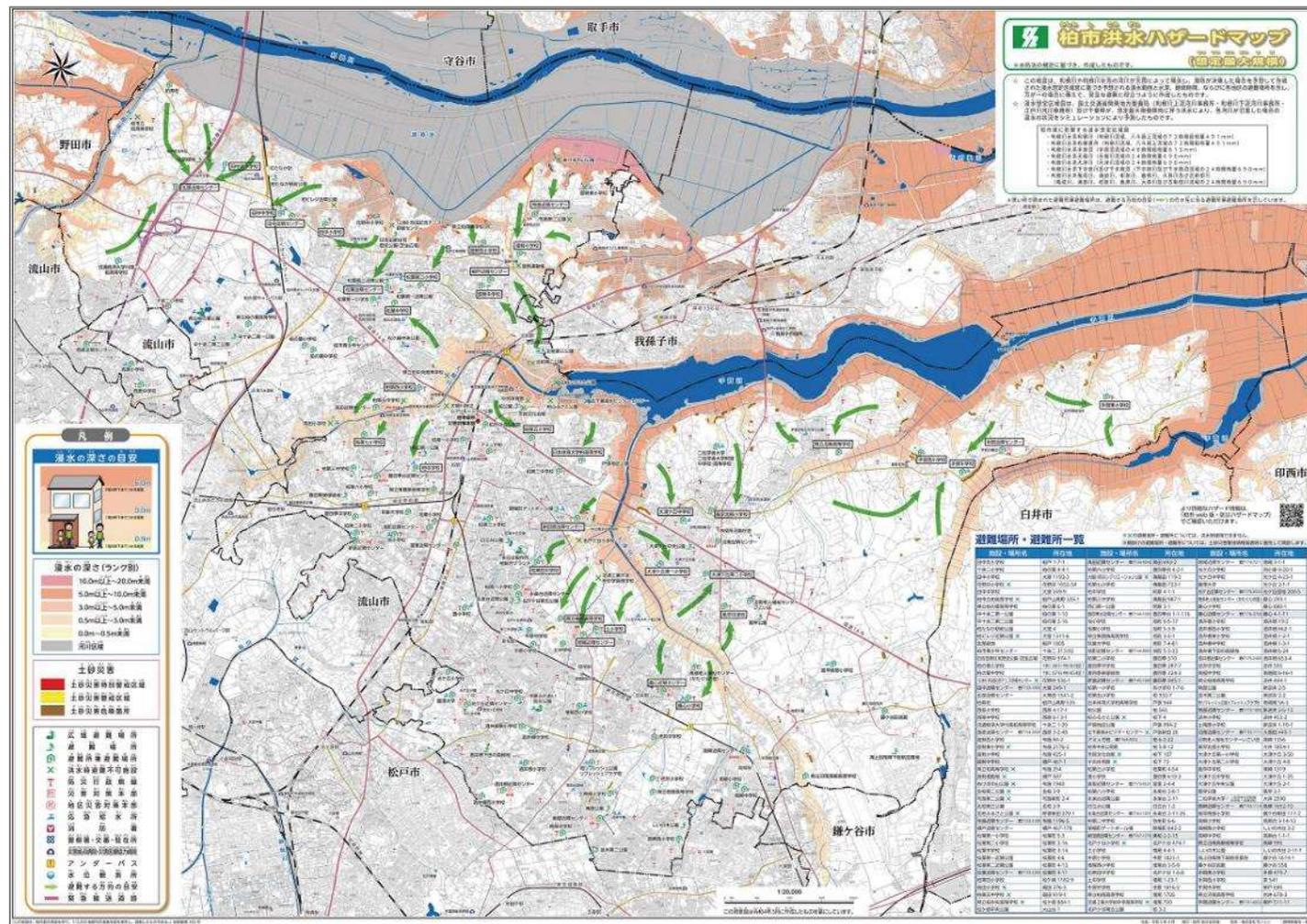
柏市の被害想定（風水害）

■ ハザードマップ

柏市では、水防法に基づき、「柏市洪水ハザードマップ」を作成しています。利根川や大堀川、大津川、手賀沼などが、想定最大規模の降雨に伴う洪水により、氾濫した場合の浸水状況を予測したものです。

また、上下水道局が作成する「柏市内水ハザードマップ」では、大雨等により下水道などの排水施設の処理能力を超え浸水する範囲等を想定し、示しています。

1000年に1度の大雨を想定して作られています。そのため、ここまでなることはなかなかありませんが、実際、熊本ではこの想定以上の大雨が令和2年に降り、甚大な被害を出しました。



柏市の被害想定（風水害）

■ web版ハザードマップ



柏市の被害想定（土砂災害）

■ 土砂災害警戒区域

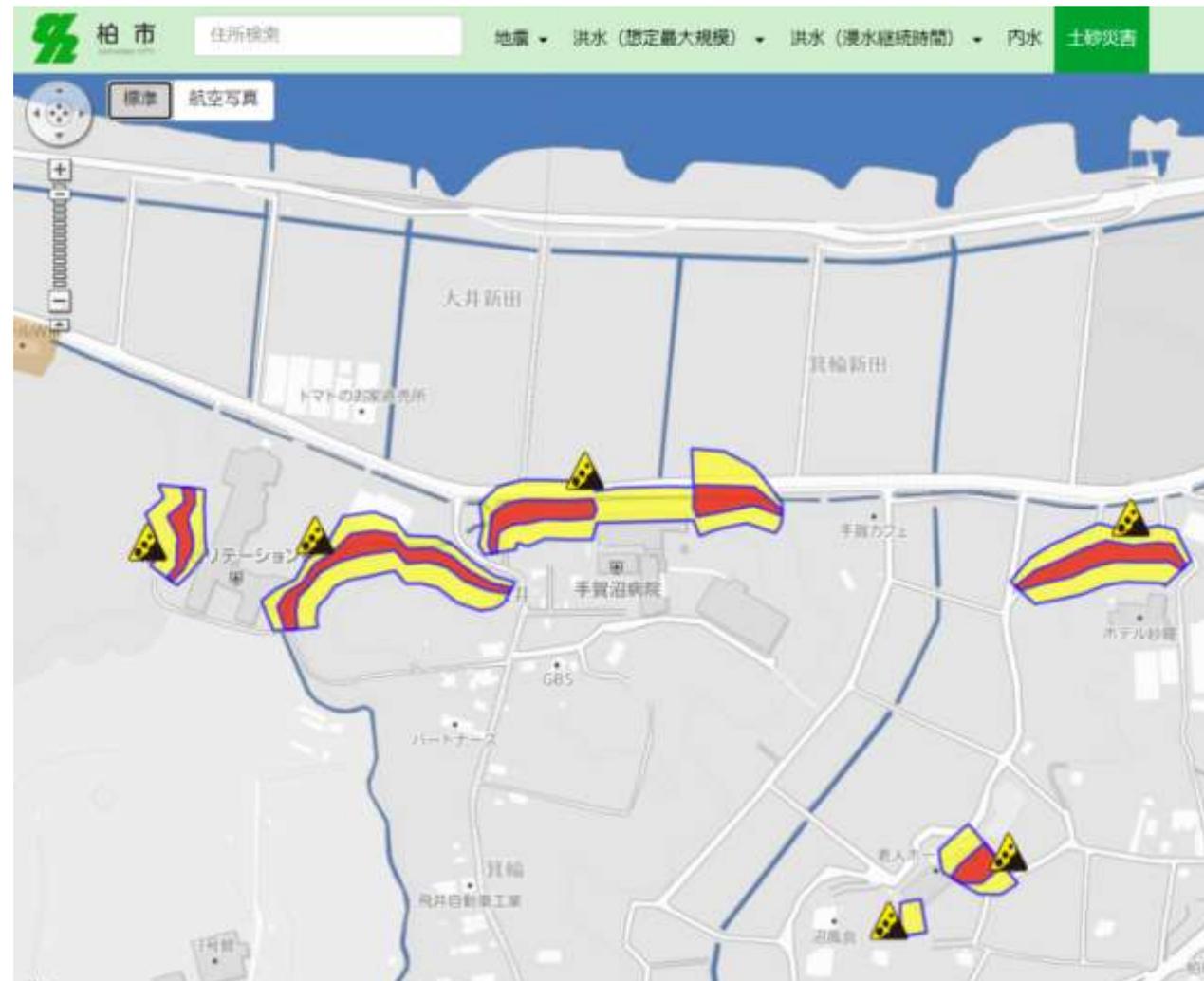
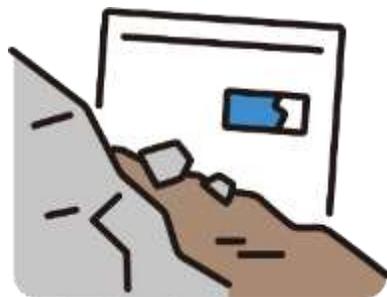
傾斜度30度以上かつ高さ5m以上の急傾斜地で、崩壊した場合に市民に危害が生じる恐れのある区域。

市内に188箇所

■ 土砂災害特別警戒区域

土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じる恐れのある区域。

市内に166箇所





2 柏市の防災体制 ～ハード面～

■ 避難場所

指定緊急避難場所
広域避難場所

146箇所(学校, 公園等)



4箇所(日立台, 柏の葉, 中原, 大堀川)



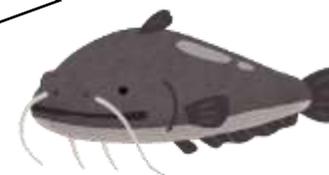
■ 避難所

指定避難所兼避難場所
(学校・近隣センター等)

112箇所



避難所はとても劣悪な環境です。
できるだけ家で過ごせるように備え
ましょう(在宅避難・分散避難)



市内のどの避難所に避難しても構いません。
(地域によっては事前に避難所を目安として定めている場合もあります)

■ 避難所の開設基準

震災

- ・柏市が震度5強以上を観測した場合
- ・災害の状況により避難が必要な場合

風水害

<自主避難所> 基本的に市内20近隣センター, 土砂災害警戒区域付近の学校

- ・台風の暴風域が24時間以内にかかると予想されるとき
- ・強風注意報が発表され警報に切り替える可能性が高いとき等

<指定避難所> 避難指示を発令した対象地の避難所

- ・避難情報の発令又は警戒区域の設定を実施した場合
- ・災害の状況により避難が必要な場合等

柏市の防災体制

■ 備蓄体制について

• 防災備蓄倉庫

公共施設

小中学校

その他公園など

計 **43箇所**

⇒21コミュニティエリア単位に整備

• 小型倉庫等

主に初動用の備蓄品

全 **112箇所**

⇒全避難所に整備



柏市の防災体制

■ 備蓄物資

令和7年3月現在

種別	品目	目標数	実績数
食糧	保存食	400,000食（発災から3日後までの避難者に必要な数）	332,860食
飲料水	保存水(500ml)	20,000本（避難所×200本）	31,800本
資機材	毛布	40,000枚（発災から3日後までの避難所避難者に必要な数）	39,927枚
	仮設トイレ	300台（避難所×3台）	300台
	簡易トイレ	1,300台（避難所×13台）	2,594台
	非常用トイレ袋	433,179枚（発災から3日後までの避難者に必要な数）	433,214枚
	発電機	200台（避難所×2台）	318台
	投光器	100台（避難所×1台）	156台
	簡易更衣室	200台（避難所×2台）	218台
	間仕切り	3,000組（避難所×30組）	4,555個
	生理用品	145,842枚（発災から3日後までの避難所避難者に必要な数）	138,524枚

■ 各避難所備蓄物資

品目	備蓄数	品目	備蓄数
① 保存食	200枚	⑪ ソーラーパネル付き発電機	4台
② 保存水(500ml)	264本	⑫ ヘルメット	2個
③ 毛布	200枚	⑬ 授乳ケープ	2個
④ 非常用トイレ袋	200枚	⑭ 避難所運営グッズ	1セット
⑤ 間仕切りパーティション	20張	⑮ ペット初動グッズ	1セット
⑥ パーティション用屋根	10張		
⑦ 多目的ベッド	20台		
⑧ 発電機	1台		
⑨ 投光器	1台		
⑩ ガソリン携行缶	1個		



柏市の防災体制



おかゆ



ビスケット



パン



保存水

柏市の防災体制



投光器



発電機



毛布



非常用トイレ袋

柏市の防災体制

屋根



多目的ベッド



パーティション



ソーラーパネル付き蓄電池



柏市の防災体制

■ 各避難所備蓄物資

避難所運営(初動対応)グッズの内容

① 両サイドマジック(黒)	2本	⑨ 画鋏	1箱	⑰ タオル	20枚
② 両サイドマジック(赤)	2本	⑩ ラジオ(手回し充電)	1台	⑱ 簡易バケツ	2個
③ 事務用鉛筆	1ダース	⑪ コップろうそく	10個	⑲ タップ	1個
④ 鉛筆削り	1台	⑫ 簡易ライト	3本×5 セット	⑳ 避難所開設・運営 マニュアル及び様式	
⑤ セロハンテープ	2個	⑬ ポリ袋(90L)	10枚×3袋	㉑ 搬入物内訳書	1枚
⑥ 布粘着テープ	10巻	⑭ ソーラー電池式ランタン	2個	㉒ 蓋付き透明コンテナ	1箱
⑦ 事務用ハサミ	2個	⑮ マグネットシート	1枚	㉓ 携帯充電用マルチコ ネクター	1個
⑧ P P C用紙(A4)	1冊	⑯ メガホン	3本	㉔ ゲルチョコク	2本

■ 各避難所備蓄物資

避難所運営(初動対応)グッズの内容

②⑤	マスク	100枚	③①	ハンドソープ(250ml)	4本
②⑥	手指消毒液(500ml)	4本	③②	次亜塩素酸書毒液(600ml)	1本
②⑦	非接触型温度計	2本	③③	ペーパータオル(200枚)	20個
②⑧	接触型体温計	1本	③④	使い捨て手袋(100枚)	9箱
②⑨	フェイスシールド	45枚	③⑤	透明ビニールシート(1m)	5枚
③⑩	除菌シート(25枚)	100個			

柏市の防災体制



■ 各避難所備蓄物資

ペット初動グッズの内容

① ビニールシート	2枚	⑩ 事務用はさみ	1本	⑲ 雑巾	3枚
② 遮光ネット	2枚	⑪ カッター	1本	⑳ ペーパータオル (200枚)	1個
③ ビニールロープ	1個	⑫ 再生紙 (A4・500枚)	一締め	㉑ 紙深皿	60枚
④ 布ガムテープ	2個	⑬ 洗濯ばさみ	40個	㉒ スプーン	10本
⑤ 養生テープ (半透明)	3個	⑭ チャック式ビニール袋	100枚	㉓ 塩素系漂白剤	1本
⑥ セロテープ	1個	⑮ 使い捨て手袋 (200枚)	1個	㉔ ほうき	1本
⑦ ボールペン (黒)	10本	⑯ 折りたたみバケツ	1個	㉕ ビニール袋	—
⑧ マジックペン (黒)	2本	⑰ ちりとり	1個		
⑨ ネームペン (黒)	2本	⑱ ペットボトル用霧吹き	2個		

■ 各避難所備蓄物資

ペット屋内避難用備蓄品

① ペットケージ（大・中・小）	各2個
② ケージカバー	10枚
③ ペットシート（88枚）	1個
④ ペット用消臭剤	1個
⑤ ペット用消臭剤スプレー	1個
⑥ ステンレス食器	10個



ケージ



ケージカバー

柏市の防災体制

■ 飲料水

災害用井戸 17箇所
耐震性貯水槽 8箇所



■ 生活用水

災害用簡易井戸 33箇所



■ 防災行政無線



防災行政無線 **190**箇所

フリーダイヤルで確認できます！
0120-280-131

たまにテレビで「柏市民はこれのことをパンザマストと呼ぶ」といじられるよ。

パンザマストはこの支柱の商品名で、柏市でしか通じないよ。
ちなみに約半分がパンザマストです。
防災安全課ではパンザマストと言わないようにしています。



柏市の防災体制

■ 気象・地震情報配信サービス

- ・かしわメール配信サービス
- ・柏市公式LINE
- ・柏市ホームページ

■ 災害時の情報

- ・テレビ（J：COM・チバテレビ）
- ・ラジオ（bay FM78）
- ・エリアメール（Lアラート）

■ 防災行政無線放送内容確認

- ・柏市ホームページ
- ・かしわメール配信サービス
- ・音声案内サービス TEL0120-280-131

■ 気象庁の情報

- ・気象庁キキクル



オススメ!



■ Yahoo! 防災速報アプリ

- ・緊急地震速報や気象警報などさまざまな情報に対応
- ・現在地と国内3地点まで設定可能



防災安全課の職員も使ってるよ
欲しい情報(警報)だけ選ぶこともできるので便利!
災害が起きそうな時に最大音量にして寝てると飛び起きるよ..

■ 「ペット避難受入れに関するガイドライン」の策定

柏市では、過去の大規模災害時に、**ペットとの避難を躊躇したことで被災した飼い主もいた**ことから、ペット受入れ体制の強化を図っています。そのため、避難所におけるペット受入れに関する取組みが平常時から円滑に進められるよう「ペット避難受入れに関するガイドライン」を策定し、令和5年9月1日より運用を開始しました。

■ 同伴避難

ペットの飼育スペースを避難所の屋内に設置すること。
※飼い主とペットが同室で避難生活を送ることを意味するものではありません。

柏市では市内小中学校及び
近隣センターを選定してます。

■ ペットの定義

犬や猫、ハムスターや小鳥などの「小型の哺乳類及び鳥類」





3 柏市の防災体制

■ 災害時に立ち上がる本部

災害対策本部

(本庁舎3階)

市長を本部長とし、災害に関する情報を集約・分析し、市の意思決定を行い、各
部局に共有を行う。各部局長や警察、自衛隊、インフラ会社が集まる。

地区災害対策本部

(各近隣センター)

市内20地域の防災拠点として活動する。
エリア内の避難所の開設と情報収集
各避難所に派遣される職員もここに所属

救護本部

(本庁舎3階)

医療の活動方針の決定や、医
師や看護師への出動要請等

災害対策指揮本部

(消防局庁舎)

火災の対応や負傷者の救
援・救助への対応等

上下水道局対策本部

(上下水道局庁舎)

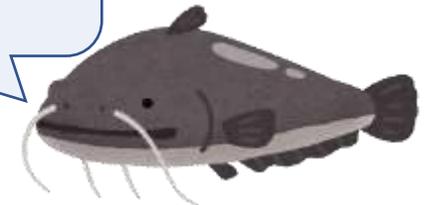
上下水道施設の管理や給
水に関する対応等

外国人支援対策本部

(パレット柏)

外国人に対する情報提供や
問い合わせ対応等

災害対策本部を中心と
して沢山の本部ができ
るんだ



地区災害対策本部の役割

■ 地区災害対策本部の主な業務

地区災害対策本部とは、市内20の近隣センターを地区の拠点として、情報収集や調査、地域住民との連携を目的として設置しています。
近隣センター所長を本部長として、以下の役割を担います。

担当	役割	人数
本部長 本部長補佐	全体指揮	各1名
本部運営員	避難所の開設・運営 地区内の被害情報の収集 人命に係る情報収集	4名
避難所運営員	K-net活動 備蓄倉庫の搬出管理 応急給水拠点での活動	1施設につき3名

全庁的に
約400名を指名

■ 避難所運営の事例（能登半島地震）

主な業務は…

- ・ 避難所運営業務

→避難所環境の維持管理，避難者名簿の作成及び管理，物資の収受及び提供など

- ・ 支援物資仕分け及び搬送業務

→自衛隊からの物資の整理，自衛隊への要請

- ・ 給水活動

→自衛隊車両による給水車の対応

実際に派遣された職員の声（当時の状況を聞きました）



防災マスター

欲しい物資は
手に入らない

避難者が自主的だっ
たため，これだけの
業務で済んだ

感染症対策は
念入りに行った

■ 避難所運営の事例（能登半島地震）



■ 避難所運営の事例（能登半島地震）



避難所運営委員会とは

■ 避難所運営委員会

発災直後の混乱期に避難所が迅速に開設され、避難者への支援がより円滑に行なわれるために、避難所となる学校と避難所を利用する住民により、予め設立し、**避難者による自主的な運営**を行うことを目的とする。

避難所運営委員会の構成例

構成員
地域のふるさと協議会
地域内の町会・自治会等の役員
PTAの役員(学校避難所の場合)
各運営チームのリーダー

避難所運営委員会の主な役割

- 避難施設の点検
- 避難所の**開設**
- 市との情報連携
- 避難所の**運営**

災害時における市の活動概要

3時間

3時間以内に行うベースの活動

- 危機管理体制の構築(災害対策本部・情報連絡体制・緊急応援要請)
- 活動資源の確保(施設, 設備, 情報通信等)
- 地震情報の周知及び避難情報の発令
- 施設及び施設利用者の安全確保

3時間以内に行う具体的な活動(柏市地域防災計画からの抜粋)

医療

- ・救護本部の設置
- ・医療機関情報の収集
- ・医薬品, 医療材料等の確認
- ・医師の応援要請
- ・負傷者の救護

避難所

- ・避難所の開設運営

物資

- ・物資の確認及び供給
- ・燃料供給方針決定
- ・トイレ設置方針検討

帰宅困難者対策

- ・公共交通機関情報の収集, 発信
- ・一時滞在施設の案内

被害状況・ライフライン

- ・コールセンターの設置
- ・住家等被害の情報収集開始
- ・大規模被害地域の被害調査及び情報収集開始
- ・道路, 橋梁被害調査, 応急対応の開始
- ・緊急輸送手段の確保
- ・交通規制の開始
- ・上下水道局災害対策本部の設置
- ・給水車等の応援要請

など

災害時における市の活動概要

12時間

12時間以内に行う具体的な活動(柏市地域防災計画からの抜粋)

医療

- ・応援医師, 看護師の要請
- ・福祉避難所の開設
- ・人材, 資機材の受入体制確立
- ・遺体収容準備等

避難所

- ・避難所の運営

物資

- ・緊急応援物資の要請
- ・救援物資受入拠点の確保
- ・医療機関への燃料供給開始
- ・協定市, 中核市等への物資応援要請

帰宅困難者

- ・代替輸送手段の検討
- ・広域帰宅困難者対応

被害状況・ライフライン

- ・応急危険度判定実施本部の設置
- ・防災拠点の応急危険度判定開始
- ・緊急輸送道路等主要道路の確保完了
- ・応急給水優先病院の給水開始
- ・応急給水開始(水源地・耐震性貯水槽)
- ・応急復旧工事計画の策定(水源地)
など

災害時における市の活動概要

24時間

24時間以内に行う具体的な活動(柏市地域防災計画からの抜粋)

医療

- ・医薬品・医療資機材の受入れ
- ・備蓄医薬品の供給

物資

- ・備蓄資機材の避難所配置
- ・応援物資供給体制の確立
- ・簡易, 仮設トイレ設置確認

被害状況・ライフライン

- ・人材及び資機材の応援要請
- ・応急復旧工事計画の策定(水道管路, 下水道施設)
- ・他市町村, 協定事業所等への応援要請
など

避難所

- ・避難所の運営

帰宅困難者

- ・一時滞在施設での受入れ

災害時における市の活動概要

72時間

72時間以内に行う具体的な活動(柏市地域防災計画からの抜粋)

医療

- ・在宅要配慮者の支援開始
- ・避難所の保健衛生活動開始
- ・安否不明者の搜索開始
- ・安否不明者相談所の開設

物資

- ・衛生管理品の確保・配布
- ・入浴施設の確保
- ・廃棄物収集開始

被害状況・ライフライン

- ・一般住宅等への応急危険度判定
- ・道路・橋梁復旧工事
- ・道路の障害物除去
- ・住宅関係障害物の把握, 除去
- ・応急復旧工事開始
- ・応急給水開始(給水タンク)
- ・他市による応急給水
- ・住家被害認定調査開始

など

避難所

- ・避難所運営組織の設立

各部署の役割

■ 各部署の災害時業務

災害対策本部が設置された際に各部署は、通常業務を停止し、災害対応の事務分掌を行うこととなります。

以下は部署別の活動概要の抜粋です。

部署名	活動概要
危機管理部	○ 災害対策本部の設置・運営
総務部	○ 職員の参集状況の確認, 取りまとめ ○ 災害コールセンターの設置
企画部	○ 帰宅困難者対策 ○ 協定市・中核市等への応援要請 ○ 外国人支援対策本部の設置

部署名	活動概要
財政部	○ 市内の被害状況の調査 ○ 罹災証明・被災届証明の発行
広報部	○ 緊急広報の実施 ○ 報道機関対応 ○ 臨時広報誌の発行
市民生活部	○ 全避難所運営統括 ○ 安否不明者の搜索 (住基・戸籍照合)

各部局の役割

部局名	活動概要
健康医療部	<ul style="list-style-type: none">○ 医療機関情報の収集○ 福祉避難所の開設○ 医師・看護師の受入態勢の確立○ 医薬品・医療資器材受入態勢の確立
福祉部	<ul style="list-style-type: none">○ 災害拠点病院等の被害状況等の把握○ 福祉避難所の開設○ 遺体収容・安置・検案○ 安否不明者の搜索
こども部	<ul style="list-style-type: none">○ 保育園児・児童等の保護・安全確認○ 保護者への引き渡し○ 所管施設の被害確認・対応

部局名	活動概要
環境部	<ul style="list-style-type: none">○ 簡易・仮設トイレの設置○ 災害廃棄物の処理○ し尿処理・運搬
経済産業部	<ul style="list-style-type: none">○ 物資・資器材の確認・運搬○ 応援物資供給体制の確立○ 燃料供給
都市部	<ul style="list-style-type: none">○ 応急危険度判定○ 被災宅地危険度判定○ 応急仮設住宅・借上げ住宅の確保

各部局の役割

部局名	活動概要
土木部	<ul style="list-style-type: none">○ 道路・橋梁の被害調査○ 道路・橋梁の復旧工事○ 緊急輸送道路等主要道路の確保完了
上下水道局	<ul style="list-style-type: none">○ 水道施設等の被害状況調査○ 給水優先施設への給水○ 応急給水活動
会計課	<ul style="list-style-type: none">○ 義援金の受付○ 総務部の応援
議会事務局	<ul style="list-style-type: none">○ 市議会議員との連絡調整○ 総務部の応援
選挙管理委員会事務局	<ul style="list-style-type: none">○ 総務部の応援

部局名	活動概要
生涯学習部	<ul style="list-style-type: none">○ 避難所（所管施設）の管理・情報収集
教育総務部	<ul style="list-style-type: none">○ 児童・生徒の保護・引き渡し○ 避難所（所管施設）の管理・情報収集
学校教育部	<ul style="list-style-type: none">○ 児童・生徒の保護・引き渡し○ 避難所（所管施設）の管理・情報収集
監査事務局	<ul style="list-style-type: none">○ 総務部の応援
農業委員会事務局	<ul style="list-style-type: none">○ 経済産業部の応援

これらはいくまで一部の業務です。
各部局で災害時の活動マニュアルを作成いただいていますので、ぜひご確認をお願いします。



4 自助・共助の備え ～私たちにできること～

自助・共助・公助の連携

自助

…自分や家族の命と財産を守るために自身で備える。

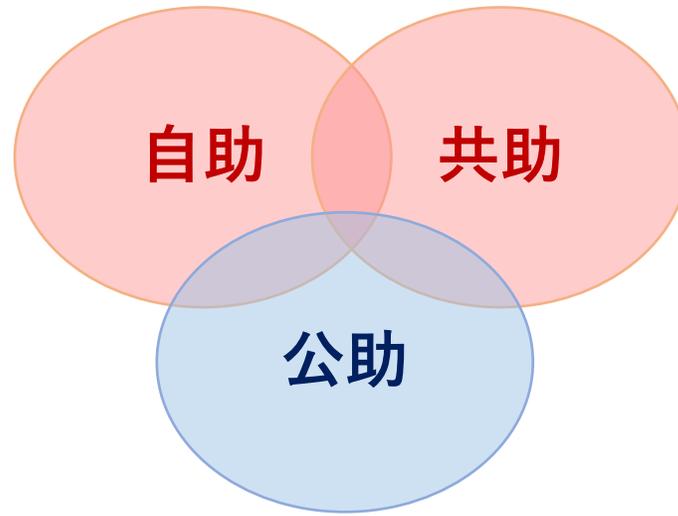
共助

…地域社会の被害を減らすために地域が一丸となって助け合う。

公助

…行政が担う総合的な防災対策。

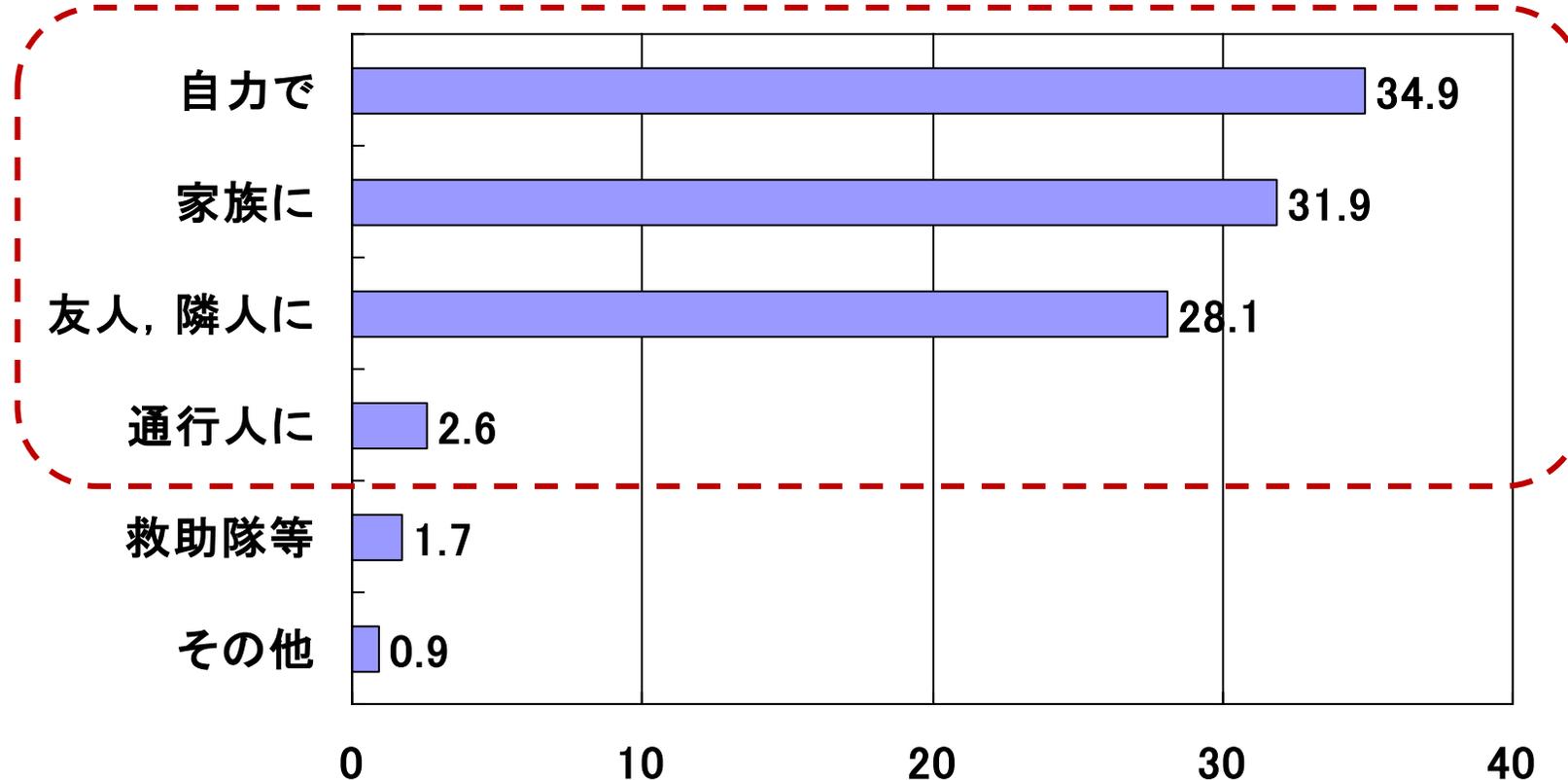
災害に強い社会は
3つの「助」が
互いに補い支え合う



3つの「助」が
最適に機能することが
被害を減らす

■ 阪神淡路大震災から学ぶこと

阪神淡路大震災直後の市民による救助・救護活動



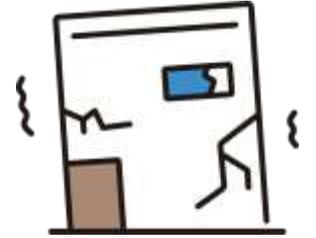
自助・共助で
約 97%

公助で
約 1.7%

18,000人が建物や家具の下敷きになり、約11,000の方が救出された

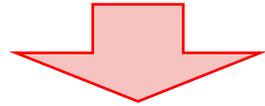
(参考: 「地震災害に強いまちや住まいを実現する環境整備のために」 東京大学教授 目黒公郎氏)

■ 阪神淡路大震災から学ぶこと

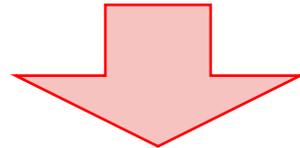


一度，大地震が発生すると...

消防・警察・市役所の職員，消防団員も被災する可能性が高く，人手不足になる可能性



電車は止まり，道路や橋が壊れると車も走れません。
壊れた建物が道路をふさいでしまうこともあり，迅速な救援活動が困難に



発災直後は公的支援(公助)はあてにならない

**自分・地域は自ら守ること(自助・共助)が重要
そのためにも日頃からの備えが必要**

皆様ができることは（自助）

**最低限 3 日分
できれば 1 週間分
の食糧・水を備蓄しよう。**

柏市では、約 3 5 万食を備蓄



皆様ができることは（自助）

■ ローリングストック法

多めに日用品や食材を
ストックする



使った分買い足す



ローリングストック法

古いものから
日常生活で使う



皆様ができることは（自助）

■ トイレの備蓄

食糧や水に目がいきがちですが…

忘れてはならないのが**トイレ**！



トイレを我慢すると体調を崩してしまいます。

食糧も大切ですが、

便袋の備蓄も非常に重要です！！



家具の転倒・落下防止 対策をしよう。

家の中は

- 家屋の耐震性
- 家具の転倒を防ぐ





地域の防災訓練へ
参加しよう。

消防・警察・自衛隊は
すぐには助けに来てくれません。
いざという時の対策を！

皆様ができることは（自助）



家族との連絡方法を 確認しておこう。

災害時、携帯電話は
発信制限がかかり、
使うことが出来ません。

災害用伝言ダイヤル 「171」

被災者が安否メッセージを「登録」し、それを一方が「聞く」という「声の伝言板」です。

1 伝言あたり 30 秒以内

体験利用

- 毎月1・15日
- 正月三が日
- 防災週間（8月30日～9月5日）
- 防災とボランティア週間（1月15日～21日）

ご利用方法

- 1 171 にダイヤル
音声ガイダンスによるご案内
- 2 録音は 1、再生は 2 をプッシュ
音声ガイダンスによるご案内
「被災地の方はご自宅の電話番号を、被災地域以外の方は、被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルして下さい。」
- 3 市外局番 市内局番 お客様番号
0XX-XXX-XXXX
をプッシュ
- 4 ガイダンスに従い録音または再生

皆様ができることは（自助）

自分の住んでいる地域の震災時避難場所の確認

●家族全員で安全な経路を確認しながら、実際に歩こう



災害時は避難所まで誰も誘導してくれません。

避難場所・避難所までのルート，安全ですか？

普段通り慣れている家の周りの道でも，災害時には安全に通れるとは限りません。
あらかじめルートを確認しておきましょう。



- ⚠️ 落ちてきそうなものはないか
- ⚠️ 時間はどのくらいかかるか
- ⚠️ 倒れそうなものはないか
- ⚠️ 街灯はあるか(夜間の場合に備えて)
- ⚠️ 道をふさぎそうなものはないか
- ⚠️ 崖などはないか
- ⚠️ 坂道や階段はないか
- ⚠️ 川や水路はないか



皆様ができることは（自助）

■ 在宅避難・分散避難

避難所に行かない備えを！

避難所は、衣・食・住の全てにおいて、自由がなく、決して快適に生活できる場ではありません。環境の変化によって体調を崩す人もいます。

■ 在宅避難

自宅が倒壊せず、備蓄品が揃っていれば、避難所に行かなくても生活が送れます

■ 分散避難

親戚，友人，知り合いの家に避難する



（熊本地震での避難所の様子）



ご清聴ありがとうございました！

